

Main racing program table with columns for race numbers (1-18), race names, participants, jockeys, and odds. Includes a large '新潟 11' graphic and a '第48回 スプリングターフステークス (GⅠ)' section.

Table with 3 columns: 1 (Race No), 2 (Horse Name), 3 (Odds/Status). Contains race results and odds for various races.

Analysis section titled '相馬の単複連' (Horse's Single/Double Connections). Includes '本紙の見解' (This paper's opinion) and '以展開' (Development) sections, discussing race strategies and horse performance.



藤本貴久の「頭き」

新潟12R キープインタツチ
12年前の新潟G1開催日。大渋滞で到着したのは1R発直前。前所属の会社は出張人数も少なく、危うく無人になるところだったな。あの頃はまだ20代。懐かしい。「心身共に充実。本格化の予感」

§ 専門紙 7 社 の 人 気 §

18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
スノードラ	サンカルロ	セイコーラ	ハクサンム	グランドオー	レッドオー	ベルカント	ハナスゴ	マヤノリュ	ストレイト	アフォード	タツシャ	コバノリチ	マジンプロ	ガルボ	トーホウア	ロープティ	アースソニ
△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△

競馬人情
吉川良

これまでに私は2度、ロシヤン競馬場で凱旋門賞を見たことがある。経験しておいてよかつたなあと思うのは、自分という奴が、東京競馬場においても大井においても盛岡においても高知においても、競馬場にいるとほとんど同じ気分が過してきているのを知ることができたことだ。

そんなことが、ひとりでありちびと酒をのみながら頭に出てきたのは、今年新潟でのスプリンターズSが、日本馬が3頭、それも勝てそうな空気で凱旋門賞に出走すると、ぶつかるみたいな日程となり、少し損をしてくるんじゃないかなあなんて考え、10月5日に新潟競馬場にい



発見馬
スゴイ

先週の新潟を馬連で見ると万馬券が6レース、50000円以上も4レース。開催を通じて、波乱に満ちていた印象です。

⑥Rはトウカイエントリ。スタートで1秒はロスがあった前々走、④着でも1頭だけ次元の違う末脚を見せました。前走は安全に安全に乗っての4馬身差圧勝。昇級も器が違います。

阪神⑩Rはアズマシャトル。久々の前走は、終始外々を回される苦しい位置取り。それでも鋭い伸び脚を繰り出している圧勝劇。クラシック路線を歩んだ素質は、ここでも一枚上です。

⑩Rはサンカルロ。押さえるのに苦勞するほど気合のり、久々の前走とは中間の気配が一変しています。馬込みをさばき切れなかった前走も、着差はわずか。状態一変、衰えない末脚で大駆けを狙います。

「レース展開」の馬番数字の中で①：などの白ヌキ数字で表したものは、その馬の「展開注目馬」ということです。

競馬人情
吉川良

人は、スプリンターズSのレース模様へ、いつもより声をあげてくれないかなあなんて、バカなことを私は考えたのだ。

「おれは場外馬券売り場で叫び声をあげよう」

と私は自分に言う。

人気馬よりも穴馬を見つめるほうが、自然に叫び声が湧きだす。よし、オーストラリアでがんばって、今回は風の女というおうか、かげの女というおうか、わたしが勝ったらどうする？みたいなハナスゴールから行ってみよう。馬単⑩-⑨、⑪-⑬、⑭-⑮。いやあ、競馬は楽しいなあ。

凱旋門賞の馬券を、昨日書かせてもらった、現地へ行くコーナーに頼んだ。私はステイゴールドが好きなのである。